

委員会報告

- ＜青少年奉仕ローターアクト委員会 常見委員長＞
- ・東京浅草RACの11月第1例会のご案内をポケットに入れました。奮ってご参加下さい。
- ＜親睦委員会 長沼委員長＞
- ・新入会員（関根さん、和田さん、桜井さん、佐藤さん）の歓迎会を11月12日、「川松別館」で開催致します。多くの会員のご参加をお願い致します。

- ・11月27日、1,600回記念例会は夜間例会で、倉本日本プロゴルフ連盟会長の卓話です。
- ・結婚記念日の花束を、台風の影響で、大塚さん遅れてしまい、申し訳ありませんでした。
- ・元当クラブ青少年交換留学生の山本絵理さんのピアノリサイタルが、11月16日サントリーホールで開催されます。

ニコニコボックス

- ＜潮田会長、土師幹事＞
- ・比留間様、本日の卓話を宜しくお願い致します。
- ＜藤掛、澤野、大塚、宮村、古谷、伊藤、丸岡、渡辺＞
- ・本日の卓話、東京武蔵村山RC・地区資金推進委員会 比留間孝司様「当地区の米山奨学事業について」よろしくお願い致します。
- ＜吉沼＞
- ・東京武蔵村山RC 比留間孝司様、本日の卓話「当地区の米山奨学事業について」宜しくお願い致します。
- ＜植木＞
- ・東京RC女性第一号 緒方貞子さんのご冥福を祈ります。
- ＜後上、片岡、松丸、本間、立野、植木、中村、松本、関根、上野＞
- ・一連の台風（15号、19号、21号）にて被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。
- ＜土師＞
- ・10月18日付けにて、浅草神社の宮司を拝命致しました。名字も“土師”となりました。今後とも、久しくお付き合い願います。
- ＜潮田、片岡、丸岡、江連＞
- ・土師様、浅草神社宮司ご就任、誠におめでとうございます。
- ＜河村＞
- ・“浅草おどり”にご来場頂きました皆様方、こ

- の度は誠にありがとうございました。皆様からのご支援により無事千秋楽を終えることができました。重ねて御礼申し上げます。
- ＜原田、上原＞
- ・土師姓襲名おめでとうございます。（矢野さんへ）
- ＜佐藤＞
- ・昨日会社の“創業150周年式典”を無事執り行う事が出来ました。
- ＜長沼、潮田、伊藤、丸岡＞
- ・だいや建設さんの“創業150周年”おめでとうございます。あわせて、代表取締役社長就任おめでとうございます。
- ＜古谷＞
- ・無事退院出来ました。入院中は退屈でほとんど死にそうでした。こっそり飲んだビールがとてもおいしかったです。
- ＜大塚＞
- ・結婚記念日にお花を戴きまして誠に有難うございました。53回目です。
- ＜常見＞
- ・結婚記念日にお花を戴きまして誠に有難うございました。
- ＜宮崎、大田、天笠、長島、小林（雅）、浜中、加藤、高木＞
- ・タイガー・ウッズ、日本で行われた米男子ツアーで優勝、おめでとうございます。松山英樹も3打差2位頑張った。

卓話

「当地区の米山奨学事業について」



東京武蔵村山 RC 地区資金推進委員会
比留間 孝 司 様

まず米山奨学事業とは、日本で学ぶ外国籍の私費留学生を支援して、将来日本と世界の架け橋となるような人材の育成をはかる奨学金事業です。現在でも国内で民間最大規模の国際奨学金事業であること。そして世話クラブ、カウンセラー制度があることが最大の特徴です。すなわちロータリーとの関わりによって米山奨学事業の理念の実現が図られるのです。

地区米山奨学委員会は、事業主体である公益財団法人ロータリー米山記念奨学会と地区内のクラブ、ロータリアンとの間に立ち、事務方として事業を支える立場にあります。

その具体的な作業は、大別して、

- 1.地区内の奨学生の選考、採用
- 2.事業の理解推進
- 3.寄付金の増進

の3点があげられます。

1.奨学生の選考と採用

事前の寄付金実績にもとづき、奨学会がその年度の奨学生採用数を決定し、またそれから各地区の採用数が割り当てられます。

基本的に地区内の大学から指定校を定め、指導教官の推薦を受けた者を対象に選考試験を行っております。奨学会の定める選考基準に加えて、当地区の選考基準も踏まえて、事業にふさわしい奨学生の採用を図ります。ただ、現在の日本の大学の留学生の実情、そして、大学側からの事業のあり方に対する要望など、時代の変化とともに、さまざまな課題が生じております。

2.事業の理解推進

奨学生、指導教官をはじめとする大学関係者、そしてロータリアンの三者間のコミュニケーションをはかりながら、事業が円滑かつ有意義に進むように努めております。また世話クラブ、カウンセラーにとどまらず地区内すべてのロータリアンに米山奨学事業の意義と可能性を実感して頂けますよう、工夫を凝らすことも心がけています。

ただ、私達がどんなことをどれだけしても、奨学生とロータリアンの個別のふれあいの蓄積に勝るものはありません。この点、具体的にいくつかの事例をご紹介します。

3.寄付金の増進

皆様から米山記念奨学会にご送金して頂く寄付金によって米山奨学事業は支えられております。事業の基盤となる普通寄付金はもちろん、特に特別寄付金の増進に力を入れてお願いしております。これは、個人、法人、クラブのいずれから任意に、そして金額を問わず随時にご送金して頂けるものです。

この特別寄付をして頂く方の増加は、当地区に割り当てられる奨学生採用数の増加にもつながります。

ただ、現状では当地区の特別寄付者割合は、残念ながら全国34地区の中で下位の順位に甘んじております。

この現実をふまえ、地区委員会といたしましても、一層の努力が必要なことに思いを新たにしております。

以上、いろいろと申し上げてきましたが、かえすがえすも皆様のご理解とご協力を頂くことで米山奨学事業は成り立っております。

どうぞ今後ともよろしくご願い申し上げます。